



Title	待遇表現訳出からみた日（中）韓対照研究：『源氏物語』桐壺巻を中心とした一考察
Author(s)	越野，優子
Citation	詞林. 2017, 62, p. 1-16
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/67207
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

待遇表現訳出からみた 日（中）韓対照研究

——『源氏物語』桐壺巻を中心とした一考察——

越野 優子

1. はじめに一画期的な朴光華訳の出現を契機に一

稿者はかつて源氏物語の漫画版として知られている『あさきゆめみし』の最初の段階について翻訳から見える差異について論じたことがある。その際、韓国語版のそれと原版との比較した際に待遇表現に特色があることを述べた。再度簡略にその内容を記すと、『源氏物語』原文には桐壺更衣と源氏の会話の場面はないが、『あさきゆめみし』には母桐壺更衣は身分が低いために帝の第二皇子である光源氏に対して敬語を用いていた。これに対し韓国語版『あさきゆめみし』では母の絶対性は固定されており、それは会話に表れていたということである^(注1 p10)。

韓国語の表す世界の特徴の一つはこの絶対的な上下関係にあると言えるから、韓国語版を読む韓国語文化圏の読者の需要を考えればこの形がふさわしいのかもしれないが、一方でたとえ親であろうとも皇子が母より敬意を示される皇室のあり方を記さないのも、『源氏物語』（を含む王朝文学）の本来の姿を曲げてしまう危惧もある。注1拙稿では既にそれを韓国語版『あさきゆめみし』で論じたので、今回は原点に戻り韓国語版『源氏物語』の論理がどうなのかを論じたい^(注1拙稿 p11)。

その資料であるが、従来韓国語版『源氏物語』は与謝野晶子等の現代語訳からの翻訳しかなかったが^(注2)、2015年に『大系』『集成』等6種類の古典語原文からの翻訳が、ついに抄録ではない形で刊行され始めたという画期的な研究報告があったので^(注3)、今回はこれを元に考察したい。この朴光華訳は後述するが古典語原文からの訳というだけではなく、注に多くの枚数を割き、単独で『河海抄』等を引くほど古典語を意識している。そこから、今までの

韓国語訳とは異なる知見が得られるのではという仮定をたて以下用例をみていくこととする。

本稿では更に対照言語として中国語も適宜加える。中国語は敬語が少ない言語として知られているので、韓国語と比較することで差異をより明確に対照化できると考えたことがその理由である。

従来から稿者の翻訳への考え方は、原本＞翻訳ではなく、翻訳は一個の独立した作品との位置づけで変わりはない。故に韓国語翻訳（及び中国語訳）の比較と考察を行うが、その価値については立ち入らない。韓国語訳（及び中国語訳）が現した世界にまた別の『源氏物語』が創造されるのを確認したいという意図の元、以下の考察を進めることを予め記しておく。

2. 上下関係の表現の用例考察—朴訳（2015）を中心として—

韓国（及び韓国語）の世界の上下関係は前節でも述べたように絶対的であり、これを理解しないと韓国の世界を理解したことにならないと言われる。年齢あるいはその世界の先輩・後輩などの上下関係では敬語を使用し、対等関係の言葉（パンマル／반말）と使い分けなければならない。例えば2013年のドラマ『星から来たあなた』^(注4)では主人公（宇宙人）は404年前に地球にきた時から容貌が一切変わらない大学講師で、30歳前の女優兼大学生のヒロインと出会い、喜劇が始まる。二人は教師と学生という関係なのでヒロインは「～요」の敬意の接尾辞で宇宙人に語りかけていたがある日、大学講師から「君のことを自分の生徒と思ったことは無い。（家から）出て行け」と云われ押し出されそうになる瞬間、「야」（おい！）とパンマル（반말）に切り替わる。それを受けるときの驚愕した大学講師の顔と「뭐（は?）」というパンマル（반말）の返答（丁寧な場合は（뭐예요）、そして更に続くヒロインの「놓아라. 이것！（この手を放せ）」という失礼な言葉に大学講師も「이봐（あのね）」と目をむきながら返すあたりに、上下関係を無視した会話への驚愕がみてとれる。二人の年齢差は374歳で現実的ではないが、年齢差が絶対的と認識している韓国の視聴者は大学講師が目をもいて反発するのをよく理解するだろうしそれがこの場面の妙味と言える。この後ヒロインは敬語を使って損をしたことを述べ、自分より若く見える大学講師に「몇살인데?（年はいくつ?）」と詰問する。この場面の中国語字幕を見てみると「おい！（喂）」

「什么（は？）」「この手を放せ（给我放手）」「我说（あのね）」「年はいくつ？（你多大啊）」と続く。この傍線を施した「你」は対等な場合の二人称で、大学講師への敬意を捨てた後のヒロインの会話にはふさわしいが、その前のまだ上下関係が保持されている箇所中国語字幕で既に「谁是你老师？（誰が君の先生だって？）」「你（そちら）」という際にも出ている。この「你」に当たる元の韓国語は「그쪽（そちら／おたく）」という、親しくない相手への距離のある人称で多少の敬意はあるので、前節で述べたように敬意をあまりもたないとされる中国語のあり方との差が現れている。

今現代ドラマでまず韓国語の上下関係を確認した。これが上下関係が更に徹底している王朝物語たる『源氏物語』に適応されるときどういう形になるかという本題に入る。

前述のようにこれ以降は朴光華訳（2015）を基に考察を行うが、前段階として注2で触れたように金鍾徳（2008）訳が『源氏物語』の原文（本文）を意識している点で朴訳の先駆になるので、これを対照する（その他、適宜金蘭周訳（2011）なども参照するときがある）。以下の1は桐壺卷冒頭の一文であり、抄訳が収められた金訳もこの箇所は、極めて著名な箇所だからか、省略は無い。

【日本語】 1. いづれの御時にか、女御更衣あまた①さぶらひたまひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めき②たまふありけり。

源氏物語（朴光華訳『源氏物語』から）

【韓国語】 1. 金 2008 어느 천황의치세 때였는지 뇨고니 코이니 하는 신분의 후궁들이 많이 ①계신 가운데 최상의 귀족 집안은 아니었지만 각별히 총애를 받는②분이 계셨다.

【韓国語】 1. 朴2015 어느 天皇（천황）의 시대이었던가, 많은 뇨우고（女御）코우이（更衣）가天皇①에게 시중들을 을 있었던 속에서 그다지 높지 않은 신분（身分）으로 두드러지게 天皇의 사랑을 받고 있는 ②분이 있었다.

【中国語】 1. 豊子愷1980 话说从前某一朝天皇时代, 后宫妃嫔①甚多, 其中②有一更衣, 出身并不十分高贵, 却蒙皇上特别宠爱.

伊藤鉄也ブログや厳教欽(2015)に記されているように朴訳は日本語原文・韓国語訳に続き注が数ページにわたっている。その注の部分で詳細な品詞分解と古典語原文の敬語に対しての説明を省略せずに行っている。『河海抄』からの言及もあり(朴訳14p)、注が古典語への説明の大半を占め省略もない。その古典語の中でも敬語、とりわけ二重敬語は敬意の対象が複数になることがあるなど、その把握が難しい。朴訳はこの理解が難しい敬語について、省略せず韓国語を交えながら詳細に注釈している点で特筆に値する。ここでは先の1. の①②の部分についてみる(この1. 等の分け方は、朴訳から任意の場所を稿者が切り取ったものである。また句読点等私に改めたところがある)。

①(さぶらひ)は謙讓語・②(たまふ)は尊敬語であり、朴訳は詳細にそれを注釈部分で説明している。①「さぶらひ(侍ひ・候ひ。サブライ。以下 생략함)」。 (謙讓語四段)는 윗사람(目上) 곁에서 시중들다, 섬기다의 뜻임. 以下省略」②「たまひ(タマイ。以下 생략함)」尊敬補助動詞四段는連用形으로 작자의 다른女御更衣에 대한 敬意를 나타냄 以下省略」という記述がそれである。以下省略としたのは女御や更衣の語彙説明が更に続くため紙幅の都合であり(「更衣는「女御」 다음의 天皇妃로」(稿者試訳: 更衣とは、女御以外の天皇の妃であり))、敬語が使用される理由が総合的に記されている。以上のことから朴訳の注釈は、敬語/敬意表現に非常に注視していると言える。

次に朴訳が示した1. を全体からみると、朴訳は「どの天皇の時代であったか、多くの女御更衣が天皇に面倒をみてもらって①いた中でそれほど高くない身分で著しく天皇の愛を受けていた②方¹がいた(稿者試訳)」となる。金訳は「どの天皇の治世だったのだろうか、女御、更衣とかいう身分の後宮がたくさん①おられた中で最上の貴族ではなかったが格別に寵愛を受ける②方²がおられた(稿者試訳)」になる。朴訳金訳ともに、「御時」は敬語を外し治世という視点に変えている。両者の相違点は金訳は①②共に敬語、朴訳は②のみ敬語というところである。金訳②분이 계셨다. で、韓国語の動詞は動詞・形容詞語幹+시(으시)で尊敬語となる法則があり、この個所は계시다(おられる)の過去形で계셨다. となっている。参考に田中幹子/金智慧 2010 所載の任チャンシュ訳『源氏物語』^(注5)でこの個所を比較すると“여인이 있었다”(女性がいた)と敬意が全くない。底本とした日本語版に敬意が現れ

ていても翻訳では敬意を落としたものになっているものが散見される中^(注5)、金鍾徳訳は異質であることがわかる。もっとも朴訳も「은」(方・あの方などの語)という形で桐壺更衣への敬意が全くないわけではない。その点は任チャンシュ訳等とは異なるが、要するに朴訳と比べて金訳は、『源氏物語』の原文に現れた敬意を全て忠実に翻訳しようとしたということが伺える。

なお、試みに豊子愷1980を挙げたが、これの日本語訳は「稿者試訳：昔のある天皇の時代に、皇妃がたくさんいる中で取り立てて高貴な立場ではないが、天皇から特別な愛情を得ている更衣が一人いた」となる。ここで“有一更衣”とあり、“有一位更衣”のような敬意を表す書き方でもなく、ただ存在が客観的に記されただけといえる。中国語の世界はこの点で日韓のあり方と異なると言える^(注6)。

【日本語】 2. (稿者注：桐壺更衣ハ) かたじけなき③御心ばへのたぐひなきを頼みにて④まじらひたまふ。

【韓国語】 2. 金2008 황송한 천황의 ③충애만을 의지하며 궁중생활을 ④하는 것이었다. (稿者試訳：もったいない天皇の寵愛だけを頼って宮中生活を送っていたのだった)

【韓国語】 2. 朴2015그래도 키리쭈보 (桐壺) 天황의 황송한 ③애정 (愛情)을 이 세상에서 돌도 없는 것으로 생각해서 그 愛情을 의지하며 宮中生活을 ④하고 계시었다. (稿者試訳：しかし桐壺帝のもったいない愛をこの世で二つとないことと考えてその愛情を頼って宮中生活をしておられた)

しかし2の用例になると、今度は朴訳のみに更衣への敬意があり金訳にはない。これはどういうことだろうか。1は名高い桐壺卷冒頭であり全体は抄訳である金訳もこの個所のみ省略せずに原文に忠実に訳したが、それ以外はそうではないということだろうか。それを検証するために3の用例をみる。

【日本語】 3. 父の大納言は⑤亡くなりて、母の北の方なむ、いにしへの人のよしあるにて、…。

【韓国語】 3. 金2008 아버지 대납언은 ⑤돌아가시고 어머니는 옛날의 기품

과 교양이 몸에 뱀 사람으로, …（試訳：父の大納言は亡くなり、母はいにしへの気品と教養が身に付いた人で…）

【韓国語】 3.朴2015 기리쭈보노코우이（桐壺の更衣）의 父인 다이나곤（大納言）은 ⑤돌아가시였기에, …다이나곤（大納言）의부인, 즉 母는 예스러운집안 출신으로 교양（教養）을 몸에 익힌 사람으로서, …（試訳：桐壺の更衣の父大納言は亡くなったので、…その夫人である更衣の母は古風な家出身で教養を身につけた人として、…）

【中国語】 3. 豊子愷1980 这更衣的父亲官居大納言之位，早已⑤去世。…

金訳・朴訳とも更衣の父大納言の死去に対して動詞に敬意をもたせていない。参考の豊訳も無しとなっている。こうなった理由は『源氏物語』原文が「父の大納言は⑤亡くなりて」と、敬意を表す動詞／助動詞が記されていないことをそのまま訳したからと考えられる。大納言も最上級ではないが貴人のうちに入り地の文としてこうして記されていても敬意表現をもって考えてよい場面と思われるが、原文に忠実にしたということであろうか。

これ以降は金訳の桐壺巻は抄訳になっていき（金訳の桐壺巻は全体で27～30p。このうち해설（解説）が29～30p までとなる）一文ずつの検討はできないのでここまでをまとめると、金鍾徳訳は、原文に忠実にこれを訳し（冒頭のような敬意表現は省略せずに訳し）、また原文に記されていない場合はこれも忠実にそのまま訳を（意識せず）行っていたとまとめることができそうである。

また参考の豊訳の中国語は1. と同様にただ父大納言の死去を客観的に述べるのみであり、このあとの母の描写も同様で、豊訳は『源氏物語』原文の地の文の敬意を訳出することは無い。注6にも述べたが、豊訳というよりも中国語訳の特徴として地の文は客観描写になっても、しかし皇帝がいた中国では皇室への敬意は全くないとは考えにくく、どこかで出現するという仮定が立てられる。

【日本語】 4. 前の世にも、御契りや深かりけん、世になくきよらなる玉の男皇子さへ⑥生まれたまひぬ。

【韓国語】 4. 朴 2015 키리쭈보노코우이（桐壺の更衣）는 前世에 있어서

도 키리쭈보（桐壺）天皇과의 因緣이 깊었던 것이었을까, 이 세상에서 더 할 나위 없이 아름다운, 옥（玉）과 같은 화자（皇子=겐지（源氏））마저 ⑥태어났던 것이다.（稿者試訳：桐壺の更衣は帝との前世の因縁が深かったのだろうか、この世界で本当に言うまでもないほど美しい珠のような皇子まで、生まれたのだった）

【中国語】 4. 豊1980 敢是宿世因縁吧，这更衣⑥生下了一个容华如玉，盖世无双的皇子。（稿者試訳：前世の因縁が深かったのだろうか、この更衣は玉のような容貌で超絶した資質の皇子を生んだ）

ここでは客観的描写のみで記されている。豊訳は中国語訳の地の文の法則通りだが朴訳では何故だろうか。参考に任チャンシュ訳、金蘭周訳を参照すると（田中2010）、どれも敬意表現はない。底本の日本語訳（それぞれ円地文子、瀬戸内寂聴）は皇子の誕生ということで敬意を記しているので、韓国語になった段階でどれも敬意を外したということになる（これは3. おわりに で再度述べる）。

【日本語】 5. この皇子三つに⑦なりたまふ年、御袴着のこと、一の宮の奉りしに劣らず、内蔵寮納殿の物を尽くして、いみじう⑧せさせたまふ。

【韓国語】 5. 朴2015 이 어린 皇子가 세 살이 ⑦되시는 해, 하카마기（袴着）의 儀式을 第一皇子가 입으셨던 衣服에 뒤떨어지지 않도록, 쿠라주카사（内蔵寮）, 오사메도노（納殿）에 있는 貴重品을 에 모두 사용하여 盛大하게 ⑧치르시었다.（稿者試訳：この幼い皇子が3才になれる年、袴着の儀式を第一皇子が着られた衣服に遅れをとらないように、内蔵寮、納殿にある貴重品を全部使って、豪勢にするように手配をされた）

【中国語】 5. 豊1980 小皇子⑦三岁那一年，举行穿裙仪式，排场不亚于大皇子当年。⑧内蔵寮和纳殿の物資尽行提取出来，仪式非常隆重（稿者試訳：幼い皇子が三歳になった年、袴着の儀式が行われたが、それは長子の皇子の儀式に引けを取らない。内蔵寮や納殿から品物を全て出してその儀式は非常に盛大に行われた）

⑦⑧に示したように、朴訳は敬意が全て表れており、豊訳は前述通りそれが

みられない。

個別にみていくとまず⑧二重敬語「せさせたまふ」については、朴訳は敬意を動詞に通常の敬意の形（語幹+시）で表しており、二重敬語自体は注にて日本語を随所に盛り込んだ説明がなされている（朴訳42 p）。厳2015 p110にあるように朴訳は一般読者と研究者両方を対象としていたようであるが、日本語を理解できないとこの注は理解が難しいと考えられるので、これだけの詳細な注が理解されないままになるなら勿体ない感じを受ける。朴訳が如何に受容されているかの実態調査を次回の課題としたいと考えるものである。

次にこの光源氏の袴着の儀式においては、朴訳では誕生の際になかった光源氏への敬意がここでは表れていることの理由をどう理解したらよいか。

【日本語】 6. 帝「なほしばし⑨こころみよ」とのみのたまはするに、…、母君泣く泣く奏して、まかで⑩させたてまつりたまふ。

【韓国語】 6. 朴2015 天皇「이대로 좀 더 ⑨상태를 보자」고만 말씀하시는 도안에……. 桐壺更衣의母가 울면서 키리쭈보 (桐壺) 天皇에게 말씀을 올려, 딸인 更衣를 退出⑩하시도록 / 하시었다. (稿者試訳：天皇は「このままもう少し状態を見よう」とだけおっしゃるうちに……。桐壺更衣の母が泣いて桐壺の帝に申し上げて、娘である更衣を退出なさるように/された)

【中国語】 6. 豊 1980 皇上已经见惯、…他说：(省略) ⑨再说吧。…更衣的母亲太君啼啼哭哭向皇上乞暇，⑩这才准许她出宫 (稿者試訳：帝は（更衣の病氣を）見慣れてしまい、…そして「（退出をするかどうかは）また後で検討しよう」と述べた。…更衣の母は泣く泣く帝に許可を請うて、やっと退出の許可を得られた）

桐壺の帝の“보자”は命令形ではなく（命令の場合はコラ体：語幹+어라）、推奨「～してみよう」であり、ここに皇妃であり御息所である更衣への帝からの敬意もみてとれる。

更衣の母から帝へは敬語であり、着目すべきはここで⑩「たてまつり」を朴訳が訳出している点である。p 47に朴は、参照した日本の注釈からの引用と

いう形をとり、「奉り」は、文中には省略した「更衣を」に対する尊敬。』（『大系』）。「親子といっても相手は帝の寵妃である」（『評釈』）」と注釈しており、帝への敬意、更衣への敬意（退出⑩하시도록）そして直接の動作主である更衣の母への敬意（하시었다）に省略なく表れており、『源氏物語』原文にある複数方向への敬意をできる限り忠実に訳出しようとした結果と推察される。

豊訳のあり方は前述同様である。ここで帝の述べた「再说吧」は今でもよく使われる「それはまた後で」といったくらいの意味である。社交辞令としてあしらうのではなく、この「後」は実現を前提としたものと言われる。

参考に記すと金蘭周2011は「잠시 용태를 두고 보십시오.（もう少し様子を見ましょう）」であり、底本の瀬戸内寂聴訳が丁寧体であったことからそれをそのまま訳出したようで、朴訳のような敬意表現へこだわる訳出のしかたは全くなされていない。

【日本語】 7. 帝「さりとともうち棄てては、え行きやらじ」とのたまはするを⑪女もいといみじと⑫見たてまつりて

【韓国語】 7. 朴2015 「설마 나를 두고서는 갈 수는 없을 것이다.」 하고 말 씀하시는데, ⑪女子 (키리쭈보노코우이) 도 天皇의 마음을 정말로 애 처롭게 ⑫생각하시어, … (稿者試訳: まさか私を置いては行くことはできないだろう。)とおっしゃるのを、女子（桐壺の更衣）も天皇の心を本当にかわいそうだと考えられて、…)

【中国語】 7. 豊1980 他对更衣说,「…」, ⑪那女的也⑫深感隆情 (稿者試訳: 彼は更衣に「…」と述べ、その女もまた深く感動して、…)

7は帝と更衣の最後の会話の場面であるが、ここで『源氏物語』原文にある「女」という言葉がよく語られる場面である（「この物語中、登場人物を「女」と呼ぶ場合は、恋の高潮場面において用いられることが多い^(註7)」）。故にこの場面は豊訳のような「他（彼）」と「她（彼女）」という単純な中国語が馴染む場面とも言え、更衣からの敬意は最小限（もしくは無し）がふさわしいと考える。朴訳は敬意を訳出してはいるが、

『源氏物語』에서, 등장인물을 「女」로 부르는 경우는 대개 사랑 (恋) 의 場面으로, 대체적으로 노래 (歌) 가 읊어지는 경우가 많음 (稿者試訳: 『源氏

物語』で登場人物を女と呼ぶ場合はたいてい恋の場面で、それらの多くは歌が詠まれる場合が多いこと」]

と注釈しており（54p）、この場面の日本の研究史をよく踏襲していることがうかがえる。

参考で金蘭周2011は、底本の瀬戸内寂聴訳が「女」でなく「更衣」にしてあるので、それをふまえた金訳では「갱의（更衣）」に主語が変更され、『源氏物語』の「女」表現という特色の訳出はみられなくなっている。

【日本語】 8. 「亡きあとまで人の胸あくまじかりける⑬人の御おほえかな」と弘徽殿などは、なほゆるしなう⑭のたまひける。

【韓国語】 8. 朴2015 「죽은 후까지, 사람의 마음을 언짢게 하는 ⑬天皇의 사랑이구나」하고, 코키텐노노우고（弘徽殿女御）등은 아직도 용서하는 마음이 없이 ⑭말을 하시는 것 이었다（稿者意識：「死んだ後まで、人の心を不快にする天皇の愛であることよ」と、弘徽殿女御様たちは、未だ許す心がなく仰られたのだった）

【中国語】 8. 豊1980 只有弘徽殿女御等人，至今还不肯容赦桐壺更衣，⑭说道：“做了鬼还教人不得安宇，这等⑬宠爱真不得了啊！”（ただ弘徽殿女御たちは、未だに桐壺の更衣を許す気持ちには至らず、こういう。「死んでからも人の心を安らかにさせない、この寵愛は本当にたまらないこと！」）

⑬「人の御おほえ」のもつ敬意は、朴訳では省略されている。朴訳の注釈では「총애」（寵愛）という既にある韓国語の熟語を注に挙げてあるのに（朴71p）、本文ではその言葉を使わず「天皇の愛」という形で表したところに朴訳の工夫も考えられる。朴訳では弘徽殿女御の怒りの強さは帝への敬意すら凌駕する女性として怒りを表したかったと推察できるし、弘徽殿女御の性格の強さ（悪さ？）を表現したかったとも考えられる。

【日本語】 9. 宮は⑮大殿籠りにけり。命婦「⑯見たてまつりて、くはしう御ありさまをも⑰奏しはべらまほしきを、待ちおはしますらむに」

【韓国語】 9. 朴2015 어린 皇子는 벌써 ⑮잠이 들어 버리신 것 이었다. 命

婦「⑬만나뵈고서, 그 모습도 天皇에게 자세히 ⑭奏上 드리고 싶습니다
마는, 天皇께서 몹시 기다리고 계시기 때문에（稿者試訳：皇子はすでに
お休みになってしまわれた。命婦「お会いして、その姿も天皇に詳しく
奏上申し上げたいですが、天皇がとても待ってられますので」）

【中国語】9. 豊1980 此时小皇子⑮已睡. 命婦稟道：本当⑯拜见小皇子.
将详情⑰复奏. 但万岁爷专候回音, 不便迟归（稿者試訳：この時幼い皇
子はもう眠っていた。命婦「小さい皇子にお目にかからなければなりません。
そして帝に詳しく返事を申し上げなければなりません。でも陛下
がずっとお待ちになっていますので、私の戻るのが遅れると都合が悪う
ございます」と申し上げる。）

朴訳では「奏上」という特別敬語がそのまま使用されている。9の特徴として地の文ではなく会話（靱負命婦と更衣の母親）内で帝を話題にしているという場面であることである。地の文とは異なる中での敬意の表し方がどうかであるが、ここでは豊訳が特徴的になっている。「拜见」「稟道」「复奏」（以上が臣下から帝に申し上げる動詞）、「万岁爷」（陛下という敬称）となり、地の文ではほぼ客観描写であった豊訳がここでは敬意表現が多出し、豊訳ほどではないが同じ中国語の銭1957訳が「皇子似已安息, 按说 应当一见 好詳細复奏」であることから、前述の仮定通り中国語訳の敬意表現は天皇に直接関わる場に出現するという論は首肯されう方向にあると考えられる。

【日本語】10. 月日経て、若宮⑱参りたまひぬ。

【韓国語】10. 朴2015 어느 정도 시일이 지나고 어린皇子가 ⑲입궐하시었다.
（稿者試訳：時間が過ぎて、幼い皇子が帝に拜謁なさった）

【中国語】10. 豊1980 过了若干时日, 小皇子⑳回宮了（稿者試訳：時間がたち、
幼い皇子は宮廷に戻った）

ここでは朴訳は地の文で帝と幼い源氏へ両方敬意が表されており、豊訳は両方とも無い。

【日本語】11. 今は内裏にのみ㉑さぶらひたまふ。…あまり恐ろしきまで㉒

御覧ず。

【韓国語】11. 朴 2015 어린 皇子는 요즘에는 宮中에만 ①9계시는 것이
다…기리쭈보 (桐壺) 天皇은 너무나도 두려운 일로서 조차 ②0생각하
는 것이다 (稿者試訳：幼い皇子は近頃は宮中にだけおられる。桐壺天皇
は（源氏の超越した気質を）あまりにも恐ろしいこととして考えられる
ことだ。)

【中国語】11. 豊 1980 此后小皇子便常①9住在宮中了。…皇上②0看见他过
分灵敏，反而②0觉得担心（稿者試訳：このこの幼い皇子は宮中に常時住
んでいる。帝は皇子の恐ろしい素質をみて、過剰に過敏になり皇子を心
配する気持ちである）

11も10の用例と同様、朴訳は地の文で幼い源氏と帝へそれぞれ敬意が表されて
おり、豊訳は両方とも無い。

【日本語】12. 帝「今は誰も誰もえ憎みたまはじ。母君なくてだにらうたう
②1したまへ」とて、…

【韓国語】12. 朴2015 天皇「이제는, 어느 누구라도 어린皇子를 미워하지
는 않을 것이다. 적어도 母가 없다고 하는 점으로서도, 귀여워하여 주길 ②1
바란다」하고, … (稿者意訳：天皇は弘徽殿女御などに「もう、どこの誰
でも幼いを嫌いはしないだろう。少なくとも母がいらないという点だけで
も、憐れんで可愛がるように願う」と)

【中国語】12. 豊 1980 他说：“现在谁也不会怨恨他了吧。他没有母亲，仅
为这一点，大家也②1应该疼爱他（稿者試訳：天皇は「今はもう誰も皇子
を憎んだりしないだろう。皇子は母がいらない。この一点だけからも彼を
深く愛しむように」）”

この場面は帝が妃である弘徽殿女御（及びその周辺）にどのような待遇表現
で語りかけているかをみるために抽出したが、「하여라, 해라」（～しろ）と
いう命令形ではなく「바란다」（望む）であり、「바랍니다」（望みます）と
いう丁寧形でもない。帝自身は絶対的な存在だが皇妃かつ東宮の母という重
い位置にいる相手にはこうした表現となるようである。またここは弘徽殿と

同時にその周りの女房たちも含めての語りかけである点もあると考えられる。豊訳は敬意はみられない。客観的な呼びかけの形である。

3. おわりに—待遇表現の訳出の法則からみえるもの—

以上この度は、今までとは一線を画す朴光華訳『源氏物語』の桐壺巻に多く依り、ここから12か所を抽出してそこに現れた待遇表現を、適宜他の韓国語訳と対照しつつみてきた。また中国語訳とも対照させて多面的な視野を設けた。1はじめに で述べたように、稿者は翻訳を原典から派生した二次的産物という位置づけではなく独立した価値を見る立場である。そうした観点から2で考察したものをまとめて述べたい。

底本を『源氏物語』原文に置いたという意味において、韓国語訳『源氏物語』の世界は2008年金鍾徳訳が分岐点で、この2008年金訳を2015年朴訳が引き継いでいるとみることができる。それ以外の韓国語訳とはその点で異なる。しかも金鍾徳訳は抄訳（一部抄訳ではない）の形をとっているが朴訳は全訳であり、今後の韓国語訳のあり方を変える存在となると考える。

そうした朴訳を中心に本稿で考えたかった『源氏物語』の敬意の論理と韓国語のそれとの関り方であるが、朴訳からは韓国語特有の論理はみられない。例えば6—⑩のような（桐壺の更衣の）母から娘への敬意表現であり、固定化した母子関係はそこには見られない。但し韓国読者を配慮しそのことを注釈で説明しているのは前述のとおりである。また9—⑪「奏上」のような言葉、そして随所でみられた「天皇」「皇子」のような漢字語がそのまま韓国語に導入されていることから、『源氏物語』に限りなく忠実にその世界を再現せんと努めた世界であると言える。さらに朝鮮王朝劇に使用される「주상（主上）」「전하（陛下）」等を使用しておらず、また朝鮮王朝時代に特徴的な敬意表現ではなく（前述コラ体等）、日本の王朝物語と意識して訳出していることがうかがえた。

以下各論に入ると、12例のうち4の源氏誕生の客観描写のみ異質でこれをどう考えるかである。それ以外は朴訳は原文に忠実で地の文も“見えない皇位”への敬意が訳出されているのはみてきたとおりである。ここで韓国語訳の古典的な田溶新訳（1999年）までさかのぼっても敬語は皇子誕生に使用されていない。恐らく誕生を直接伝える際なら「탄생하셨습니다」だったが、

ここは誕生を出来事として捉え、客観的描写になったと考えられる。誕生という感覚が日韓で異なった故と考えればこれは敬意とは別次元の問題として用例から除去でき、それ以外の例は一貫して述べてきたような敬意表現の全訳として、やはり朴訳は今後精査を継続して進めるべき成果と位置付けられると考えられる^(注8)。

なお今回は参照材料として主として扱わなかったが中国語訳のあり方も対照的に特色が浮かび上がっており、これも個別にみていくべきと考える。

最後に繰り返すが、以上の考察はそれぞれの国や訳者の翻訳の価値を述べるものではなく、それぞれ固有の価値があることは言うまでもない。

【参考文献】

- ・ 钱稻孫訳 1957『『源氏物語』 桐壺卷』『訳文』 8月号（人民文学出版社）
- ・ 神作光一編 1998『源氏物語の鑑賞と基礎知識』①桐壺 至文堂
- ・ 豊子愷（訳）1980—1983『源氏物語』上中下冊（人民文学出版社）
- ・ 彭国躍 1999「中国語に敬語が少ないのはなぜ？」『月刊言語』28
- ・ 金鍾徳 2008『겐지이야기』지만지
- ・ 徐迎春 2010「豊子愷の翻訳方針について—記念館所蔵豊子愷訳『源氏物語』の原稿を通して—」『コンパレティオ』14号→現代語訳から（p4、注8より、『古典全集』等所収の原文を参照したとは書かれていない）。
- ・ 金蘭周訳／金裕千監修 2011『源氏物語』ハンギル社
- ・ 田中幹子／金智慧 2010「韓国語訳『源氏物語』における解釈上の諸問題について—『桐壺』巻（1）—」『比較文化論叢25』（札幌大学文化学部紀要）
- ・ 田中幹子／金智慧 2011「韓国語訳『源氏物語』における解釈上の諸問題について—『桐壺』巻（2）—」『比較文化論叢28』（札幌大学文化学部紀要）
- ・ 伊藤鉄也 ブログ「鷺水庵」<http://genjiito.sblo.jp/s/article/179012344.html>の記事 朴光華著『源氏物語—韓国語訳註—（桐壺卷）』より
- ・ 田中幹子／鄭寅瓏 2013「钱稻孫訳『源氏物語』の特徴について（上）「比較文化論叢」28号。
- ・ 巖教欽 2015（オムキョフム）「新刊紹介：朴光華著『源氏物語—韓国語訳註—』（桐壺卷）」『海外平安文学研究ジャーナル』3号
- ・ 朴光華 2015『源氏物語—韓国語訳註—（桐壺卷）』図書出版
- ・ 越野優子 2016『国冬本源氏物語論』武蔵野書院
- ・ 李愛淑 2017「韓国における日本古典文学研究の現況」『世界の日本研究2017 国際的視野からの日本研究』（国際日本文化研究センター）

【注】

- （注1）越野優子 2013「源氏物語の享受作品“あさきゆめみし”の日韓比較——王権・呼称・待遇を中心として——」『詞林』53号、越野2016に所収。
- （注2）但し金鍾徳（2008）の『겐지이야기』は抄訳ではあるが、現代語訳ではなく、『全

集』や『集成』等に収録された青表紙本等を底本にしているものである。越野2016 165 p に記してあるように、金鍾徳2008の訳は『源氏物語』の本文の三系統に触れ、青表紙本が原文に一番近いと言えるのでこれを底本に選択したと述べている（金2008書10p）。

（注3）（厳教欽 2015）。序文に「桐壺（키리쑤보）卷의 구성은 日本語本文（古文）、韓国語訳、韓国語注釈으로 되어있다.」とある。但しなお最新の韓国における『源氏物語』の研究状況は上記（李愛淑 2017）によれば、2015年の教育部の資料では日本関連学科87のうち7校のそれが廃科の対象になっていることが記されており、韓国での日本語科の先細りの状況が伺えるが、そんな中で古典文学は教育の場で敬遠傾向にありながら学会の研究の中心であること、その中でも源氏物語の比重が単体で16%に達し、その存在の大きさを伺わせている。

（注4）2013年12月18日から2014年2月27日に SBS 放送で放映されたドラマ。韓国語題名「별에서 온 그대」。中国で大ヒットして社会現象を巻き起こしたと言われる。中国語題名は「来自星星的你」。中国の国会である全国人民代表大会でこのドラマへの言及があり、話題になった。“中国全人代で韓国ドラマが大きな話題に”
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/world/20140310/260862/2014年3月12日>
 中国語原文は「王岐山也看韩剧 点评《来自星星的你》2014-03-06 06:00（来源：云南信息报）」

3月5日下午、王岐山参加北京团审议政府工作报告。人大代表、人艺院长张和平讲述了人艺的一些发展和困境。王岐山：“你们都看网上时髦的那个剧、叫什么“星星”？”代表静默。有人小声：“《来自星星的你》。”王岐山：“对、《来自星星的你》。你看、你们官员都不知道。”全场大笑。王岐山：“其实我就考虑一个问题、韩剧为什么占领了中国？为什么漂洋过海、影响了美国、甚至欧洲。前几年他们就出了一个江南Style。”全场大笑。王岐山：“有时候我也有一段没一段看看韩剧、看半天我发现我明白了、韩剧走在咱们前头。韩剧内核和灵魂、恰恰是传统文化的升华。”

（<http://m.hexun.com/news/2014-03-06/162765657.html>）」

（注5）この任チャンシュ訳は田中2010によれば逐語訳であり円地文子訳に基づいているとされる。田中2010に参考として引用されている金蘭周訳は「개이가 있었습니다.（稿者試訳：更衣がいました）」であり、金蘭周訳の底本・瀬戸内寂聴訳は「優遇されていらっしゃる更衣がいました」であるが、韓国語には敬意は表されていないことになる。

（注6）中国語の敬語の問題は、彭 1999の論文など。田中幹子／鄭寅瓏 2013に考察された銭稲孫訳『源氏物語』は、田中によれば1957年に桐壺巻の中国語訳が雑誌『訳文』によって発表された、初の中国語訳であり、更に文化大革命によって四散し今は入手困難という希少さも鑑み、著名な豊訳と対比させる目的でこれを今回使用した。またこの論文では共著の鄭寅瓏が銭訳を更に日本語訳しており、これを通じて中国人観点の『源氏物語』を日本語で実感できる点貴重と考え、本稿で適宜使用している。ちなみにこの桐壺巻冒頭の一文は、鄭が銭の中国語訳を「どの時代であったか、大勢の女御更衣の中で大変身分が高いとはいえないお方が、抜きんでて時めいていた」と更に日本語訳している。地の文は客観的に、そして「お方」の部分に更衣への敬意の訳出がうかがえる。

待遇表現訳出からみた日（中）韓対照研究（越野）

（注7）神作光一編 1998 p43より引用した。

（注8）本稿執筆の過程で문명재 2007『겐지이야기』웅진씽크빅を入手した。美しい全19章で薫大将の話で終わっていることから抄録版と思われるが韓国語版の一例として記しておく。資料を下さった유원대학교 한중선教授に深謝申し上げる。

（こしの・ゆうこ 福州大学外国語学部日本語科）